

対外コミュニケーション

NTTデータでは、社会全般の情報セキュリティ対策の促進に寄与すべく、活発な社外コミュニケーションを展開しています。

具体的には、企業における個人情報漏えいインシデントの統計的な情報を提供するとともに、リスクやインシデント傾向の変化に関する見解や対策の提言を行っています。

また、ヒューマンエラーによる情報漏えい対策とともに、サイバー攻撃の被害増加について注意喚起する等、

サイバー攻撃対策の必要性を啓発しています。

これらの情報の一部は、内閣サイバーセキュリティセンター(NISC)が2015年3月に公開した「我が国のサイバーセキュリティ戦略」(サイバーセキュリティの侵害やリスクの情報開示に関するガイドライン)でも引用されました。

総務省が主管する自治体情報セキュリティ対策検討チームにも、セキュリティに関するレポートを提供しています。

2015年のセキュリティレポート

No.	発行年月	タイトル
1	2015年1月	ホテルの無線LAN利用は要注意! Darkhotel攻撃とは
2	2015年2月	「Tor」による犯罪、 巻き込まれないためには
3	2015年3月	新品PCにマルウェア混入? LenovoのSuperfishについて
4	2015年4月	安全にインターネットバンキングを 利用するには
5	2015年5月	身代金を要求するランサムウェアが増加中!
6	2015年7月	車を不正に遠隔操作!? 求められるIoTのセキュリティ

No.	発行年月	タイトル
7	2015年8月	警戒レベル上昇中! 「標的型攻撃」の最新動向と対策
8	2015年9月	いつも見ているそのサイト、本当に安全で すか? ~お気に入りサイトで被害に遭わな いために~
9	2015年10月	セキュリティ分野へのAI活用、その課題は?
10	2015年11月	Android™マルウェアの感染経路と対策
11	2015年12月	間近に迫る!? 複雑になり過ぎたパスワードからの開放

セキュリティ業界の活発化への貢献

NTTデータは、全国的な外部講演活動も積極的に行っています。2014年度・2015年度は、日本全国で開催された日本ネットワークセキュリティ協会(JNSA)や経済産業省主催のセミナー、情報セキュリティ大学院大学主催のワークショップ、また、インターネットの最新動向などを議論するInternetWeekにおいて、人材発掘

やCSIRTなどをテーマにした講演を行いました。

また、経済産業省が中心となった、若年層の優秀なサイバーセキュリティ人材の早期発掘と育成を行う「セキュリティ・キャンプ」では2004年の立ち上げから参画。2015年には同キャンプ実行委員長を輩出するなど、その運営にも深く携わっています。

目指すは安心・安全な社会の実現

NTTデータは、こうした情報提供、外部講演、対外活動参画などによる対外コミュニケーションにより、セキュリティ対策の普及・啓発を図っています。このよう

な取り組みを通じて、情報セキュリティの新しい考え方やトレンドの創出によるセキュリティ業界全体の発展、そして安心・安全な社会の実現を目指しています。